

おうちに**本**がある生活、はじめてみませんか？



うちどくのススメ



南あわじ市教育委員会
南あわじ市・洲本市小中学校組合教育委員会

1冊の本が 豊かにする 家族の時間

「うちどく」ってなに？

家族みんなで読書に取り組む「うちどく」。
テレビ、スマホ、タブレットから少し離れ、家族
みんなで本を読んだり、みんなで図書館を利用し
たり、読み聞かせをしたりすることで、家庭での
コミュニケーションが増え、家族の絆も深まって
いきます。



読書の3つの効果

本を読むことで得られる効果はたくさんありますが、その中でも3つをご紹介します。



落ち着いた 時間をつくる

本を読む時間は、本を読む以外のことができません。テレビを見ながら宿題はできても、テレビを見ながら本は読めません。本を読む習慣をつけることで、本だけに向き合い、落ち着いた時間を過ごすことができます。

大人も同じです。本を読むための時間は、意識しないと作ることができません。スマホやテレビを消して、家族で本を読む時間を作ってみませんか？



豊かな 心の体験ができる

本や絵本は現実ではできないような体験が疑似体験できます。登場人物と一緒に喜んだり、ワクワクしたり、時に悲しんだり。そんな心の体験が多ければ多いほど、感性も豊かになり、人生も豊かになっていくでしょう。



語彙が増え 想像力が身につく

5・6年生の国語の教科書の合計の語彙数が約13万字。例えば、クマのプーさん文庫本は約14万字。文庫本を1冊読めるようになると、5・6年生の2年間の語彙数を簡単に超し、読めば読むほど語彙数は増えて活字への抵抗も少なくなっていくます。

そうすれば必ず読解力も高まっていきます。さらに、お話を想像しながら読むので、想像力も身に付いていきます。



Let's try!

絵本の読み聞かせ

親子で取り組む絵本の読み聞かせには、いいことがいっぱい！

- 話を聞く力と集中力を育てます。
- 子どもの心の中に安心感が生まれます。
- 家族のつながりを育て、親子の絆が深まります。

「うちどく」の進め方 3 STEP

STEP 1

うちどくの日 を決めよう！

「週に1回、1回5～10分」
からやってみましょう。
週末など、週に1回家族みんなで
読書できる時間帯がオススメ。

STEP 2

我が家 スタイル を決めよう！

- ・家族で同じ本を読む
- ・それぞれ好きな本を読む
- ・最後は読み聞かせをする など

STEP 3

図書館 に行ってみよう！

南あわじ市には
魅力的な図書館がいっぱい！
ぜひ活用してみましょう！



—— 南あわじ市の 図書館（室）に行ってみませんか？

南あわじ市には、1館3室の図書館（室）があります。子どもたちが
本と出会い、世界を広げる図書館（室）をぜひ活用してみませんか？
（休館日：月曜日 及び 祝日の翌日）

「うちどく」におすすめ
の本コーナーも設置中！

広田地区公民館
図書室



南あわじ市立
図書館



中央公民館
図書室



湊地区公民館
図書室

